

授業科目

国際社会福祉特論

担当教員名 寺田 貴美代	対象学年	1	対象学科	保健学・健康科学・社会福祉学・医療情報
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

授業の概要

国際社会福祉に関するテーマの中でも、日本国内の問題を中心に扱う。具体的には、まず総論として、日本における外国人の概要と、在留資格、近年の施策などを取り上げ、国内における国際化の現状を理解するための基礎を学ぶ。その上で、各論として、社会保障の問題や無国籍、DV被害など社会福祉と関連するテーマについて学ぶ。

授業の目的

国内の外国人をめぐる近年の問題の実態や背景について考察し、多文化共生に関するさまざまな課題について理解することを目的としている。また、受講生自らが国内の外国人に関するテーマに関心を持ち、他の学生とコミュニケーションを図りながら問題意識を深めることを目指す。

学習目標

1. 国際社会福祉について理解するための基礎的理論や概念を修得する。
2. 社会福祉関連を中心に、国内における国際化をめぐる問題を認識する。
3. 多文化共生のあり方について理解を深め、自分なりの意見を持つ。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	オリエンテーション	講義・討議	寺田 貴美代
2	基本的概念(1)	講義・討議	寺田 貴美代
3	基本的概念(2)	講義・討議	寺田 貴美代
4	国内における外国人の概要(1)	講義・討議	寺田 貴美代
5	国内における外国人の概要(2)	講義・討議	寺田 貴美代
6	国内における外国人の概要(3)	講義・討議	寺田 貴美代
7	社会保障と外国人	講義・討議	寺田 貴美代
8	国際結婚とDV	講義・討議	寺田 貴美代
9	外国人の子どもたち	講義・討議	寺田 貴美代
10	近年の施策(1)	講義・討議	寺田 貴美代
11	近年の施策(2)	講義・討議	寺田 貴美代
12	近年の施策(3)	講義・討議	寺田 貴美代
13	多文化共生の可能性を探る(1)	講義・討議	寺田 貴美代
14	多文化共生の可能性を探る(2)	講義・討議	
15	まとめ	講義・討議	寺田 貴美代

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	特に使用しません。毎回、プリントを配布するため、この授業専用のファイルを用意してください。					
参考書	適宜、授業中に資料を紹介します。授業を通して関心を持ったテーマについては、積極的に情報収集を行い、テーマを深く掘り下げてほしいと思います。					
その他の資料						

評価方法

授業内の報告と、課題の提出内容の2点に基づいて成績を評価します。1. 授業内の報告とは、授業のテーマに関連した報告および、授業での意見交換（ディスカッション）における発言内容の評価です。2. 課題の提出内容とは、授業中に実施する課題の提出内容による評価です。

履修上の留意点

講義を一方向的に聞くのではなく、講義と併せて各受講者が国際社会福祉に関する報告を行います。そして、他の受講生との意見交換を通して理解を深める形式の授業です。

オフィスアワー・連絡先

木曜日 12時30分～14時30分
場所：E315研究室

上記の時間に都合がつかない場合など、何かあればメールでご相談ください。
E-mail : terada@nuhw.ac.jp